

保健管理センター業務報告書

(2021年度版)

筑波大学保健管理センター

目 次

1. 保健管理センター沿革	1
2. 保健管理センター細則	3
3. 保健管理センター運営委員会	
1) 運営委員名簿	11
2) 運営委員会議事	12
4. 保健管理センターの組織図及び職員	
1) 組織図	13
2) 職員	14
5. 対応業務等	15
6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断	17
7. 学生健康診断	
1) 定期健康診断	
i) 受診状況	18
a) 学群生	18
b) 大学院生	18
c) 研究生等	18
ii) 健康診断再検査者	19
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）	20
8. 職員健康診断	
1) 一般健康診断	
i) 受診者数及び受診率	21
ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳	22
iii) 労働安全衛生規則 13 条第 1 項第 2 号の業務（特定業務）の従事者	23
iv) 胃造影検査	23
2) 特殊健康診断	
i) 電離放射線健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	24
ii) 有機溶剤健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	24
iii) 特定化学物質健康診断（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）	24
3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）	25
4) その他	
i) 便潜血反応検査	26

ii) P S A 検査	26
9. 保健管理センター利用状況	
1) 健康相談月別利用状況	
i) 学生内科受診数	27
ii) 学生整形外科受診数	27
iii) 学生外科処置受診数	27
iv) 学生精神科受診数	28
v) 職員・その他	28
2) 診療収入等	29
10. その他	
1) インフルエンザワクチン接種	30
2) H B s 抗原抗体検査	30
3) 臨床検査実施数	31
4) エックス線写真撮影件数	32
5) 心理検査実施数	33
6) 処方箋発行数	34
7) 外部診療機関紹介状況	35
8) 健康診断証明書等発行数	35
9) 救護活動	36
10) 救急箱貸出数	37
11) 医療安全教育研修	38
11. 研究業績	39

1. 保健管理センター沿革

昭和48年10月の筑波大学の開学にあわせて、保健管理センターが設置された。昭和49年4月に専任の職員が発令となり、オリンピック記念青少年総合センターにおいて開かれた新入学生オリエンテーション以降、臨床医学系教員ほか関係各位の協力を得て救護活動を開始した。

昭和49年6月3日に筑波地区での講義開始に合せ、体育合宿所の一部で本格的業務を開始し、昭和50年7月に専用の建物が現在地に竣工し、移転した。

なお、昭和49年9月から、文部省（現文部科学省）共済組合筑波大学支部診療所が当センターに併設され、以後その業務についてもセンター職員が兼務している。

昭和53年3月31日の東京教育大学の閉学、筑波大学への移管に伴い、東京教育大学で健康管理業務を担ってきた健康相談所も閉鎖され、本学東京地区職員の健康管理業務は当センターが行うことになった。

昭和54年10月から、一の矢学生宿舎に夜間医務室を設け、医師が宿泊し夜間の救急に備えた。

開学当初は学生相談の対応とともに内科、精神科、整形外科及び歯科を開設し、昭和50年に眼科（～平成元年度）、また昭和57年には婦人科（～平成8年度）が開設され、さらに昭和63年には運動選手を主たる対象とするスポーツ・クリニックも始められた。

平成元年に創立15周年を迎え、記念誌「健康への歩み」を発行した。

平成3年7月に、本学が当番大学となり第29回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館国際会議室において開催した。

平成3年末に、附属病院の救急部の新設や近隣病院の開設等の医療体制の整備に伴い、一の矢学生宿舎の夜間医務室を廃止した。また、プロジェクトとしてのスポーツ・クリニックが終了し、平成4年度からはスポーツ外来部門を当センターの業務、トレーニング・クリニック部門を体育センターの業務とするスポーツ・クリニックがスタートした。

平成6年には、創立20周年を迎え、記念誌「学生相談室20周年誌」を発行した。

平成9年12月に、センター事務室等の改修工事が行われ、事務部門及び看護部門を一体化し、サービスセンターとしての機能の向上を図った。

平成10年4月から、健康診断実施業務の充実と省力化を図るため外部業者に業務委託を行うとともに、関連業務の効率化を図るための電算化を開始した。

平成11年には、健康診断業務の電算化をさらに推進し、受診者の健康管理や健康診断証明書発行業務等での一層の効率化を図った。また、創立25周年を迎え、記念誌を発行した。

平成14年10月の図書館情報大学との統合に伴い同大学体育・保健センターの保健部門との組織及び業務の統合が行われた。

平成16年4月の国立大学法人化に伴い、当センターも労働安全衛生法に基づく労働安全衛生業務を担当することになり、センター職員も産業医や衛生管理者として専門的業務に対応することになった。

平成19年7月に、本学が当番大学となり第45回全国大学保健管理研究集会関東甲信越地方部会研究集会を大学会館講堂において開催した。

平成20年1月に、学生健康診断証明書の証明書自動発行機からの発行が開始となり、学生の利便性が図られた。

平成23年3月に、学生相談のWEBサイトのリニューアルを行い、モバイルサイトを構築した。

平成24年2月に、学生相談窓口を春日エリアにも開設した。

平成24年3月に、保健管理センターホームページのリニューアルを行った。

平成25年10月1日から、耐震改修工事のため、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所を休診とし、当センターのみ11月11日に、クラブハウスに仮移転して診療業務を開始した。なお、文部科学省共済組合筑波大学支部診療所は、耐震改修後の併設が困難なことから、平成26年1月31日に廃止した。

平成26年6月24日に、当センターの耐震改修工事が完了したため、仮移転先のクラブハウスから移転した。

平成27年10月から、本学附属病院主催の「診療の安全に関する研修」（年2回開催）を当センターにてDVD研修として実施した。

平成28年6月に設置された保健管理センターのあり方検討会を経て、11月に保健管理センター改革準備委員会が設置され、平成29年6月に役員会において改革提言（診療の有償化、健診・救護に関わる業務の効率化、学生相談・メンタルヘルス対策充実に関わる体制・環境の見直し及び管理・運営体制の見直し）が報告された。

改革提言のもと、平成30年4月よりセンター組織をフィジカルヘルス部門とメンタルヘルス部門に分け、副所長を設置した。さらに入試救護の集約化、後発医薬品の積極採用が行われた。平成31年1月からは診療情報管理システム“THOCS”を導入し、診療料金等の有償化を開始した。同年4月、保健管理センターから学生相談室を分離独立させ、学生相談体制の強化を図った。また、スポーツ・クリニックを整形外科に統合した。さらに、同年度より健康診断における法定外の項目を中心とする検査項目の見直しが行われた。

令和元年11月に感染症予防対策の一環として、希望者に対し、インフルエンザワクチン接種を実施した。

令和2年8月に新型コロナウイルス感染症の疑いのある者に対する発熱外来（電話診療）を設置した。

大学周辺には歯科施設が充足している状況にあること等を踏まえ、令和3年3月31日を以って歯科診療を廃止した。

令和3年8月30日から11月5日まで、新型コロナウイルスワクチン職域接種（1、2回目）が実施され、当センターからも人員を派遣し協力した。

2. 保健管理センター細則

〔平成 16 年 4 月 1 日〕
〔保健管理センター部局細則第 1 号〕

改正 平成 26 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 1 号
平成 30 年保健管理センター部局細則第 2 号
平成 31 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 元年保健管理センター部局細則第 2 号
令和 2 年保健管理センター部局細則第 1 号
令和 3 年保健管理センター部局細則第 1 号

保健管理センター細則

（趣 旨）

第 1 条 この部局細則は、国立大学法人筑波大学の組織及び運営の基本に関する規則（平成 16 年法人規則第 1 号。以下「基本規則」という。）第 51 条第 5 項の規定に基づき、保健管理センター（以下「センター」という。）の組織及び運営に関し必要な事項を定めるものとする。

（目 的）

第 2 条 センターは、国立大学法人筑波大学（以下「本学」という）における保健管理に関する専門的な業務を行い、もって本学の学生及び職員の心身の健康の維持及び増進を図ることを目的とする。

（業 務）

第 3 条 センターは、次に掲げる業務を行う。

- (1) 学生及び職員等の健康管理等についての企画及び立案に関すること。
- (2) 学生及び職員等の定期及び臨時の健康診断の実施並びに保健指導に関すること。
- (3) 学生及び職員等の急病等に対し応急診療及び救急処置を行うこと。
- (4) 学生及び職員等の健康相談に応じること。
- (5) 学生のメンタルヘルスに関する相談、診療及び企画を行うこと。
- (6) 環境衛生及び伝染病の予防に関し教育指導を行うこと。
- (7) 心身の健康障害の予防及び保健管理の充実向上のための専門的調査研究を行うこと。
- (8) その他健康管理等に関する専門的業務を行うこと。

2 センターは、前項各号の業務のうち職員に係るものについては、基本規則第 35 条第 1 項及び国立大学法人筑波大学職員の安全衛生管理規則（平成 16 年法人規則第 29 号）第 10 条に規定する

特別な組織として設置される環境安全管理室と連携して、これを行うものとする。

(診療料金等)

第4条 前条第1項第3号及び第5号に規定する診療及び処置に関する業務において、診察費、薬剤費、検査費、処置費、書類作成費等（以下「診療料金等」という。）を徴収する。

2 前項に規定する診療料金等の額及び徴収方法は、別表のとおりとする。

3 第1項に規定する診療料金等の領収証書、領収済報告書及び原符の様式は、それぞれ別記様式第1号から第3号までのとおりとする。

(副所長)

第5条 センターに、副所長を置く。

2 副所長は、センターの業務に従事する大学教員のうちからセンターの長（以下「所長」という。）が指名する。

3 副所長は、所長の職務を補佐する。

4 副所長の任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、副所長となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(部 門)

第6条 センターに、次の表の左欄に掲げる部門を置き、同表右欄の業務を担当する。

名 称	担当業務
フィジカルヘルス部門	身体の健康に関する業務
メンタルヘルス部門	メンタルヘルスに関する業務

2 前項に規定する部門にリーダーを置き、所長が指名する。

3 リーダーは、第1項に掲げる業務を統括する。

4 リーダーの任期は、2年とする。ただし、任期の終期は、リーダーとなる日の属する年度の翌年度の末日とする。

(運営委員会)

第7条 センターに、基本規則第53条第1項に規定する運営委員会として、センター運営委員会（以下「委員会」という。）を置く。

2 委員会は、センターの管理運営に関する基本的な事項を審議する。

3 委員会は、次に掲げる委員で組織する。

(1) 所長

- (2) 副所長
- (3) センターの業務に従事する大学教員 2 人
- (4) 医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員 3 人
- (5) その他センターの維持運営に関係する大学教員 5 人
- (6) 学生部長

第 8 条 前条第 3 項第 3 号から第 5 号までの委員の任期は、2 年とする。ただし、任期の終期は、委員となる日の属する年度の翌年度の末日とする。

- 2 補欠の委員の任期は、前任者の残任期間とする。
- 3 前 2 項の委員は、再任されることができる。

第 9 条 委員会に委員長を置き、第 7 条第 3 項第 1 号の委員をもって充てる。

- 2 委員長は、委員会を主宰する。
- 3 委員長に事故があるときは、第 7 条第 3 項第 2 号の委員がその職務を代行する。

第 10 条 委員会は、過半数の委員が出席しなければ、議事を開き、議決することができない。

- 2 委員会の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、委員長の決するところによる。

(専門研究員)

第 11 条 センターに、特定の業務について調査研究を行わせるため、専門研究員を置くことができる。

- 2 専門研究員は、大学教員のうちから所長が指名する。
- 3 専門研究員の任期は、1 年とする。ただし、任期の終期は、専門研究員となる日の属する年度の末日とする。

(センター会議)

第 12 条 センターに、センターの業務の円滑な運営を図るため、センター会議を置く。

- 2 センター会議に関し必要な事項は、別に定める。

附 則

- 1 この部局細則は、平成 16 年 4 月 1 日から施行する。
- 2 この部局細則施行前に運営委員会の委員である者であって、この部局細則施行後も当該委員として任期が引き続くものについては、この部局細則により運営委員会の委員となるものとみなす。ただし、その任期は、第 5 条第 1 項本文の規定にかかわらず、この部局細則施行の日から平成

17年3月31日までとする。

附 則（平26.12.16保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成26年12月16日から施行し、改正後の国立大学法人筑波大学保健管理センター細則の規定は、平成25年4月1日から適用する。

附 則（平30.3.20保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成30年4月1日から施行する。

附 則（平30.12.21保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、平成31年1月1日から施行する。

附 則（平31.3.1保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、平成31年4月1日から施行する。

附 則（令元.9.6保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和元年10月1日から施行する。

附 則（令元.10.8保健管理センター部局細則2号）

この部局細則は、令和元年11月1日から施行する。

附 則（令2.6.22保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和2年6月22日から施行し、改正後の保健管理センター細則の規定は、令和2年4月1日から適用する。

附 則（令3.3.10保健管理センター部局細則1号）

この部局細則は、令和3年4月1日から施行する。

別表（第4条関係）

1 診療料金等の額

単位：円

項 目		内 科	整形外科	精神科
(1) 診察費		500	500	1,000
(2) 薬剤費		300	300	1,000
(3) 検査費	(a) レントゲン	500	500	500
	(b) 心理検査			1,000
	(c) 心理検査（簡易）			500
	(d) その他の検査	500	500	500
(4) 処置費	(a) 医師処置	500	500	500
(5) 書類作成費等	(a) 紹介状	1,000	1,000	1,000
	(b) 診断書（センターの診療に基づくもの）	1,000	1,000	1,000
	(c) 特殊診断書	2,000	2,000	2,000
	(d) レントゲンコピー	500	500	500
	(e) 検査結果コピー	500	500	500
	(f) その他	1,000	1,000	1,000
(6) ワクチン接種料	(a) インフルエンザ	2,500		

2 診療料金等の徴収方法

(1) 定期健康診断の呼出し診療

定期健康診断の呼出しによる診療及び再検査は、無料とする。ただし、当日に薬剤処方が必要な場合は、薬剤費を徴収する。

(2) 1診療科を受診する場合

レントゲン及び心理検査以外の検査は、複数行われた場合であっても、検査費は500円とする。

(3) 複数の診療科を受診する場合

診察費、薬剤費、検査費及び処置費は、それぞれの診療科の診療料金等の額の合計額とする。

(4) その他

(7) 学生及び職員の定期健康診断に基づく健康診断証明書の作成は無料とする。

(イ) 来所証明書及びSPEC指示書の作成は無料とする。

(ウ) 看護師健康相談は無料とする。

(エ) 松葉杖等装具貸出しは無料とする。

(オ) 学生の保護者、又は指導教員等に対する相談は無料とする。

(カ) 特殊診断書には、センターの診療に基づく定型の診断書以外のすべての診断書を含む。

別記様式第 1 号 (第 4 条関係)

領 収 証 書		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額	千	百	十
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印 	

合計金額

円

円

円

円

(大きさ A4)

領 収 済 報 告 書					No					
殿					(摘要)					
領 収 金 額			千	百	十	万	千	百	十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役								領 収 日 付 印		
								円		
								円		
								円		
合計金額								円		

(大きさ A4)

別記様式第 3 号（第 4 条関係）

原 符		No	
殿		(摘要)	
領 収 金 額		千	百
		十	万
		千	百
		十	円
上記金額領収いたしました。 年 月 日 国立大学法人筑波大学 出納役		領 収 日 付 印	

円
 円
 円

 合計金額 円

(大きさ A4)

3. 保健管理センター運営委員会

1) 運営委員名簿

2021年4月1日現在

氏 名	職 名	所 属	任 期	備 考
(センター所長)				
◎坂 本 透	准教授	医 学 医 療 系	—	
(センター副所長)				
太 田 深 秀	准教授	医 学 医 療 系	—	
(センターの業務に従事する大学教員)				
久 賀 圭 祐	教 授	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	
白 鳥 裕 貴	講 師	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	
(医学医療系長の推薦に基づき所長が委嘱する大学教員)				
檜 澤 伸 之	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
家 田 真 樹	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
川 上 康	教 授	医 学 医 療 系	2021. 4. 1～2023. 3.31	
(その他センターの維持運営に係る大学教員)				
中 村 修	教 授	環境安全管理室	2020. 4. 1～2022. 3.31	環境安全管理室長
加 賀 信 広	教 授	人 文 社 会 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	学生生活支援室長
杉 江 征	教 授	人 間 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	学生相談室長
白 木 仁	教 授	体 育 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	体育センター長
新 井 哲 明	教授	医 学 医 療 系	2020. 4. 1～2022. 3.31	附属病院 精神神経科グループ長
(本部部長であって学生生活に関する業務に従事する職員)				
関 瑞 穂	部 長	学 生 部	—	

◎は委員長を示す。

2) 運営委員会議事

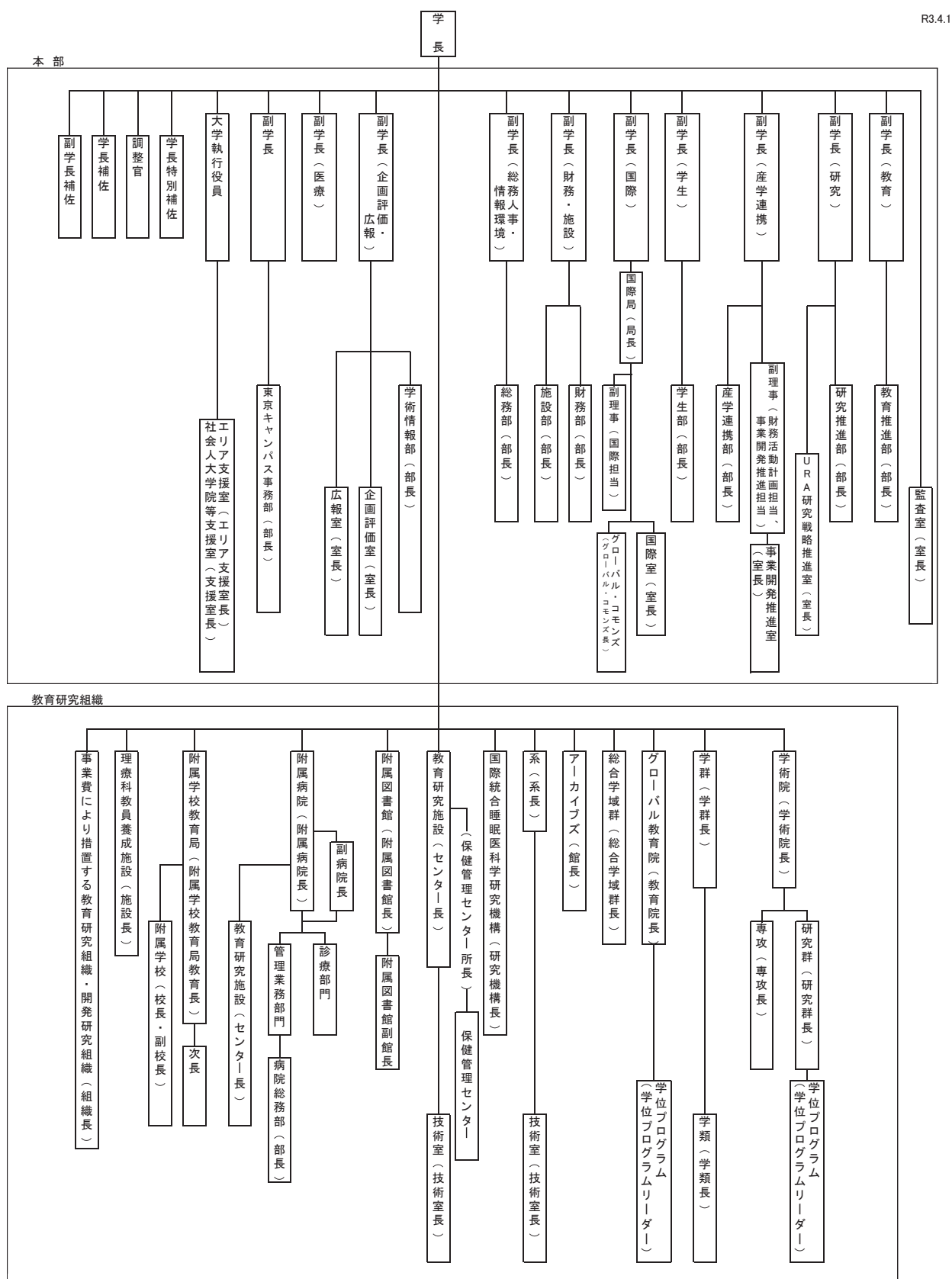
2021年度の運営委員会は1回開催し、通常議題のほか、保健管理センター所長の候補者の内申について等について審議を行った。

第1回 2021年12月22日オンライン会議開催

- 議題等
- ・令和2年度年度計画の実施結果について
 - ・令和3年度年度計画について
 - ・保健管理センター所長の候補者の内申について

4. 保健管理センターの組織図及び職員

1) 組織図



2) 職 員

所 長 内 科：坂本 透 准教授

副 所 長 精 神 科：太田 深秀 准教授

教 員 内 科：久賀 圭祐 教授＊，間瀬 かおり 講師＊
整形外科：船山 徹 講師（～ 5/31），三浦 紘世 講師（6/1 ～）
精 神 科：白鳥 裕貴 講師＊，袖山 紀子 助教

医 療 職 員 岡本 祐子 看護師，寺門 恵美子 看護師，寺島 公世 看護師，
坂本 幸子 看護師，上等 美貴 保健師
細川 晴美 薬剤師（～ 6/6），大畑 瞳 薬剤師（6/7 ～）
片岡 裕司 診療放射線技師

事 務 職 員 金井 浩紫 専門員，高野 七重 係長

非 常 勤 医 師 榎本 真美（内科），望月 美恵（内科），
埜口 博司（整形外科），宮本 芳明（整形外科），
石井 映美（精神科）

非常勤職員等 渡邊 明子 薬剤師，稲葉 由美子 臨床検査技師，
増田 彩乃 臨床心理士（テスター），荒木 文香 社会福祉士（11/1 ～）
松木 博 シニアスタッフ，鈴木 京子 シニアスタッフ，
福島 幸子 シニアスタッフ（～ 9/30）
黒堀 沙織 事務補佐員
李 暁芳 派遣職員（10/21 ～ 3/31）

（注）＊は産業医

他に臨床医学域，心理学域，体育系からの多数の教員の御協力・御支援をいただいた。

5. 対 応 業 務 等

4 月	入学式救護と新入生オリエンテーション対応 学群学生，大学院学生，研究生，日本語研修生等の定期健康診断と再検査
5 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 障害のある学生定期健康診断 職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 Japan-Expert 地球規模環境学位プログラム入学試験に伴う救護 春季スポーツ・デー救護（中止）
6 月	職員一般定期健康診断 学生・職員特殊健康診断 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査 職員一般定期健康診断（東京地区） 学生・職員特殊健康診断（東京地区） 学生定期健康診断（東京地区） 職員の便潜血検査・前立腺特異抗原（PSA）検査（東京地区） 体育専門学群学生水泳臨海実習参加者健康診断審査・精密検査
7 月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 学生定期健康診断に伴う再検査・精密検査 共通科目「体育」集中実習（水辺活動）受講学生に対する健康診断審査・精密検査 大学院推薦入学試験に伴う救護 学群編入学試験・帰国生徒特別入学試験に伴う救護
8 月	大学院入学試験に伴う救護 受験生のための筑波大学説明会に伴う救護（オンライン開催。救護なし） 関東甲信越大学体育大会に伴う救護（中止） 国際バカロレア海外教育プログラム特別入学試験に伴う救護
9 月	全国大学保健管理協会・関東甲信越地方部会研究集会参加
10 月	インフルエンザワクチン接種 アドミッションセンター入学試験，国際科学オリンピック特別入学試験，大学院入学試験に伴う救護 研究人材入学試験に伴う救護 全国大学保健管理研究集会参加（オンライン参加） 秋学期入学者・外国人留学生健康診断と再検査
11 月	秋学期入学者・外国人留学生健康診断に伴う再検査 職員特定健康診断 学生・職員特殊健康診断

11月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 職員特定健康診断（東京地区） 職員特殊健康診断（東京地区） 職員の胃エックス線検査（東京地区） 学園祭に伴う救護（Web開催。救護なし） 秋季スポーツ・デー救護 学群推薦入学試験に伴う救護 学群推薦入学試験（体育専門学群）に伴う精密検査 インフルエンザワクチン接種
12月	学群編入学試験追試験に伴う救護 職員の胃エックス線検査 大学院（グローバル教育院）入学試験に伴う救護 インフルエンザワクチン接種
1月	大学入学共通テストに伴う救護 大学入学共通テスト追試験に伴う救護 大学院入学試験に伴う救護
2月	学生定期健康診断（医学類，看護・医療科学類，教育実習，介護等体験） 個別学力検査等試験前期日程に伴う精密検査・救護
3月	放射線業務従事者講習会に伴う電離放射線健康診断 個別学力検査試験後期日程に伴う救護 個別学力検査試験（前期・後期）追試験に伴う救護 卒業式・学位記授与式に伴う救護

（注）（東京地区）の記載のないものはすべて筑波地区で実施したもの。

標記の行事等対応業務のほか，次の日常的主要業務を行った。

- ・内科，整形外科，精神科の日常診療，健康相談，随時応急措置
- ・発熱外来
- ・学生有償健康診断
- ・学生，職員要経過観察者の管理
- ・精神衛生相談，職業適性テスト，ロールシャッハテスト
- ・健康診断証明書の発行
- ・海外派遣労働者健康診断

6. 入学志願者健康診断書審査及び精密健康診断

月別 区分	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	合計
学 群 個 別 学 力 検 査											0 26		0 26
学 群 推 薦 A C 入 試								0 14					0 14
科 目 等 履修生群生													
大 学 院													
科目等履修生 大学院研究生													
研 究 生・ 聴 講 生													
理療科教員 養 成 施 設						5 0		16 0		2 0			23 0
外 国 人 留 学 生													
2学期入学 編 入 学													
計						5 0		16 14		2 0	0 26		23 40

※上段は書類審査数，下段は精密健康診断を実施

7. 学 生 健 康 診 断

1) 定期健康診断

i) 受診状況

a) 学群生

健 診 種 別	2 月 (実習)			4 月 (定期)			10 月 (二学期入学・留学生等)		
学 群	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	在籍者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)	対象者数 (人)	受診者数 (人)	受診率 (%)
人 文・文 化 学 群	52	50	96.2%	943	556	59.0%	3	1	33.3%
社 会・国 際 学 群	9	8	88.9%	708	341	48.2%	10	3	30.0%
人 間 学 群	54	51	94.4%	479	297	62.0%	0	0	0.0%
生 命 環 境 学 群	31	31	100.0%	1,053	684	65.0%	18	6	33.3%
理 工 学 群	56	55	98.2%	2,109	1,093	51.8%	11	4	36.4%
情 報 学 群	4	4	100.0%	1,017	521	51.2%	0	0	0.0%
グ ローバル教育院	0	0	0.0%	24	12	50.0%	7	3	42.9%
医 学 群	508	489	96.3%	813	742	91.3%	4	3	75.0%
体 育 専 門 学 群	162	157	96.9%	868	609	70.2%	0	0	0.0%
芸 術 専 門 学 群	32	30	93.8%	415	233	56.1%	1	0	0.0%
総 合 学 域 群	0	0	0.0%	420	407	96.9%	0	0	0.0%
学 群 計	908	875	96.4%	8,849	5,495	62.1%	54	20	37.0%

b) 大学院生

大 学 院	6	6	100.0%	6,865	2,801	40.8%	162	34	21.0%
-------	---	---	--------	-------	-------	-------	-----	----	-------

c) 研究生等

研 究 生 等	1	1	100.0%	507	50	9.9%	34	18	52.9%
---------	---	---	--------	-----	----	------	----	----	-------

合 計	915	882	96.4%	16,221	8,346	51.5%	250	72	28.8%
-----	-----	-----	-------	--------	-------	-------	-----	----	-------

ii) 健康診断再検査者

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察			要 治 療	経 過 観 察
胸部エックス線		6	6	0	2	6	6	1	5	1	1	0	1	13	13	1	8
血 圧		1	1	0	0	3	3	0	2	0	0	0	0	4	4	0	2
尿	蛋 白	18	15	0	2	7	5	0	0	0	0	0	0	25	20	0	2
	糖	8	7	0	1	11	8	0	2	1	0	0	1	20	15	0	4
内 科 所 見		7	7	0	5	2	2	0	1	0	0	0	0	9	9	0	6
心 電 図		42	39	0	21									42	39	0	21
計		82	75	0	31	29	24	1	10	2	1	0	2	113	100	1	43

項 目		学 群 生				大 学 院 生				研 究 生 等				合 計			
		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果		対 象 者 数	受 検 者 数	結 果	
				継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了			継 続	終 了
こころの健康		331	63	61	2	131	24	16	8	3	1	1	0	465	88	78	10

(注) 胸部エックス線検査対象者は、学群1年生、大学院1年生、および実習等で健康診断証明書が必要な学生である。

(注) 心電図検査対象者は、体育専門学群1年生および、実習等で健康診断証明書が必要な体育専門学群生・学群1年生である。

(注) 結果：異常なしは、受検者数－（要治療＋経過観察）である。

(注) 2019年度より肥満は健康診断証明書での指導のみとした。

2) 学生特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
初心者（5月）	84	84	5	79	5	0
定 期（5月）	167	137	0	101	32	4
初心者（7月）	16	16	1	13	3	0
初心者（11月）	33	33	2	20	13	0
定 期（11月）	217	124	0	74	46	4
令和4年 初心者（3月）	31	31	3	21	10	0
合 計	548	425	11	308	109	8

ii) 有機溶剤健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5月	0					0
11月	0					0
合 計	0	0	0	0	0	0

（注）2021年度より学生の有機溶剤健康診断対象者及び対象物質を変更した。

iii) 特定化学物質健康診断：学群生及び大学院生（研究生含む）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5月	0					0
11月	0					0
合 計	0	0	0	0	0	0

（注）2021年度より学生の特定化学物質健康診断対象者及び対象物質を変更した。

8. 職 員 健 康 診 断

1) 一般健康診断

i) 受診者数及び受診率

(令和3年10月1日在職者，非常勤職員：週20時間以上の勤務者)

事業場	受診者数	対象者数	受診率
大学本部等事業場	3,064	3,372	90.9%
附属病院事業場	2,563	2,599	98.6%
東京キャンパス事業場	145	159	91.2%
附属小学校事業場	44	50	88.0%
附属中学校事業場	31	32	96.9%
附属高等学校事業場	45	46	97.8%
附属駒場中学校・ 附属駒場高等学校事業場	52	52	100.0%
附属坂戸高等学校事業場	35	55	63.6%
附属視覚特別支援学校事業場	108	108	100.0%
附属聴覚特別支援学校事業場	103	103	100.0%
附属大塚特別支援学校事業場	39	40	97.5%
附属桐が丘特別支援学校事業場	79	81	97.5%
附属久里浜特別支援学校事業場	40	46	87.0%
計	6,348	6,743	94.1%
(令和2年度)	5,095	6,609	77.1%

(令和4年1月31日までの集計結果)

健康診断実施日 筑波地区：令和3年5月24日～6月3日（9日間） 11月9日～11月12日（4日間）

東京地区：令和3年6月22日～6月25日（4日間） 11月26日（1日間）

附属坂戸高等学校事業場，附属久里浜養護学校事業場，その他の遠隔地では別日程で実施。人間ドックや他の医療機関等の結果報告を含む。

ii) 項目別有所見者数及び率とその内訳

項 目	実施者数	有所見者		要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
		人数	率	人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
聴力検査 (1000Hz)	3,832人	116人	3.0%	116人	3.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (4000Hz)	3,832人	152人	4.0%	152人	4.0%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
聴力検査 (会話法)	2,459人	4人	0.2%	4人	0.2%	0人	0.0%	0人	0.0%	0人	0.0%
胸部エックス線 検査	6,204人	592人	9.5%	413人	6.7%	158人	2.5%	0人	0.0%	21人	0.3%
喀痰検査	0人										
血圧検査	6,338人	1,449人	22.9%	1,079人	17.0%	98人	1.5%	7人	0.1%	265人	4.2%
貧血検査	4,576人	1,020人	22.3%	849人	18.6%	98人	2.1%	52人	1.1%	21人	0.5%
肝機能検査	4,449人	1,164人	26.2%	794人	17.8%	356人	8.0%	4人	0.1%	10人	0.2%
血中脂質検査	4,443人	2,439人	54.9%	1,726人	38.8%	592人	13.3%	0人	0.0%	121人	2.7%
血糖検査	4,437人	665人	15.0%	513人	11.6%	58人	1.3%	8人	0.2%	86人	1.9%
尿検査(糖)	6,296人	130人	2.1%	10人	0.2%	48人	0.8%	0人	0.0%	72人	1.1%
尿検査(蛋白)	6,275人	97人	1.5%	73人	1.2%	18人	0.3%	0人	0.0%	6人	0.1%
心電図検査	4,464人	199人	4.5%	0人	0.0%	188人	4.2%	0人	0.0%	11人	0.2%

健康診断実施者中における上記項目全体の総合判定結果の人数と率

要経過観察		要精密検査		要治療		治療継続	
人数	率	人数	率	人数	率	人数	率
2,078人	30.8%	1,049人	15.6%	59人	0.9%	754人	11.2%

健康診断実施者中における上記項目全体の有所見者数及び率と要指示者数及び率

1つ以上所見のある者の数	有所見率	医療機関受診が必要な者の数	要指示率
3,940人	58.4%	1,108人	16.4%

iii) 労働安全衛生規則第13条第1項第2号の業務（特定業務）の従事者

業務	高熱	低温	放射線	粉じん	異常気圧	振動	重量物
人数	0人	3人	145人	0人	7人	0人	39人
業務	騒音	坑内	深夜	酸・アルカリ	有害物ガス	病原体汚染	その他
人数	2人	0人	582人	20人	2人	98人	0人

iv) 胃造影検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,462	21	0.6%	3
東京地区	540	15	2.8%	2
合 計	4,002	36	0.9%	5

(注) 対象は、H30年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
平成25年度から全員間接撮影。

2) 特殊健康診断

i) 電離放射線健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月（初心者）	11	11	0	11	0	0
5 月（継 続）	467	442	0	305	137	0
7 月（初心者）	7	7	0	7	0	0
11 月（初心者）	7	7	0	6	1	0
11 月	456	425	0	347	78	0
令和4年 3 月（初心者）	4	4	0	2	2	0
合 計	952	896	0	678	218	0

（注）実施月のうち5月，11月以外は，新規に放射線作業に従事するために講習を受けた者のみの健康診断である。

ii) 有機溶剤健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	30	30	0	27	3	0
11 月	25	25	0	22	3	0
合 計	55	55	0	49	6	0

iii) 特定化学物質健康診断：職員（常勤職員及び非常勤職員，研究員，その他）

実 施 月	対 象 数	受 診 数	要再検数	結 果		
				異常なし	要 観 察	要 治 療
5 月	14	14	0	10	4	0
11 月	12	12	0	11	1	0
合 計	26	26	0	21	5	0

3) 特定健康診査（メタボリックシンドローム健康診断）

対象	対象者数	受診者数 (受診率)	危険度0 (該当率)	危険度1 (該当率)	危険度2 (該当率)	危険度3 (該当率)	危険度4 (該当率)	判定不能 (該当率)
男	2,104人	1,719人 (81.7%)	806人 (46.9%)	178人 (10.4%)	338人 (19.7%)	271人 (15.8%)	82人 (4.8%)	2人 (0.1%)
女	1,842人	1,609人 (87.4%)	1,383人 (86.0%)	69人 (4.3%)	88人 (5.5%)	50人 (3.1%)	14人 (0.9%)	0人 (0.0%)
計	3,946人	3,328人 (84.3%)	2,189人 (65.8%)	247人 (7.4%)	426人 (12.8%)	321人 (9.6%)	96人 (2.9%)	2人 (0.1%)
治療薬服用者 (既治療率)			195人 (8.9%)		134人 (31.5%)	98人 (30.5%)	25人 (26.0%)	0人 (0.0%)

(注) 40歳以上職員を対象とする。

●診断基準

1. 腹囲 男性85cm以上 女性90cm以上

+

2. 血糖：空腹時血糖が^a110mg/dl以上 または ヘモグロビンA1c値が^a6.0%以上
また 糖尿病で薬剤治療中
3. 血圧：収縮期血圧が^a130mmHg以上 または 拡張期血圧が^a85mmHg以上
また 高血圧で薬剤治療中
4. 脂質：中性脂肪値が^a150mg/dl以上 または HDLコレステロール値が^a40mg/dl未満
また 脂質異常症で薬剤治療中

●判定基準

- 危険度0（メタボリックシンドローム基準非該当）：全項目該当なし
- 危険度1（メタボリックシンドローム基準非該当）：腹囲のみ該当
- 危険度2（メタボリックシンドローム予備群該当）：腹囲＋1項目に該当
- 危険度3（メタボリックシンドローム基準該当）：腹囲＋2項目に該当
- 危険度4（メタボリックシンドローム基準該当）：全項目に該当
- 判定不能：未実施項目があり判定できない

4) その他

i) 便潜血反応検査

地 区	対象数	受診数	受診率	要精密数
筑波地区	3,462	236	6.8%	13
東京地区	540	121	22.4%	10
合 計	4,002	357	8.9%	23

(注) 対象は、令和2年度から40才以上の、常勤職員及び週20時間以上勤務の非常勤職員。希望者。
免疫学的便潜血反応検査（ラテックス凝縮法）を用いた。

ii) P S A検査

地 区	対象数	受診数	受診率
筑波地区	288	193	67.0%
東京地区	36	18	50.0%
合 計	324	211	65.1%

(注) 令和3年度から、対象者は50・55・60・65歳の、常勤職員及び週20時間勤務の非常勤職員。
希望者。

9. 保健管理センター利用状況

1) 健康相談月別利用状況

i) 学生内科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	25	55	56	40	16	23	93	115	139	19	15	20	616
大 学 院 生	11	35	24	32	23	18	79	60	52	24	13	30	401
研 究 生 等	2	3	3	1		1	1	3	4	1		3	22
合 計	38	93	83	73	39	42	173	178	195	44	28	53	1,039

ii) 学生整形外科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	20	27	66	75	35	74	74	63	55	42	38	51	620
大 学 院 生	5	3	14	14	6	7	7	8	14	14	15	8	115
研 究 生 等			3	1					1		1	2	8
合 計	25	30	83	90	41	81	81	71	70	56	54	61	743

iii) 学生外科処置・健康相談受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	12	7	10	7	9	3	3	4	4	2	2		63
大 学 院 生	10	4	2	6	4	4	4	3			2	3	42
研 究 生 等		2		1		1	1		2			3	10
合 計	22	13	12	14	13	8	8	7	6	2	4	6	115

(注) 学生外科処置・健康相談受診数とは、看護師が実施した件数である。

iv) 学生精神科受診数

区 分	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学 群 生	90	84	117	126	98	90	128	111	142	118	133	140	1,377
大 学 院 生	56	50	81	89	67	48	73	62	72	67	58	75	798
研 究 生 等	1	2	3	1	3	2	4	2	6	3	3	4	34
合 計	147	136	201	216	168	140	205	175	220	188	194	219	2,209

v) 職員・その他

区分／ 科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
本 学 職 員	7	9	7	22	13	8	195	155	72	13	7	10	518
そ の 他 の 外 来 者				1	1								2
合 計	7	9	7	23	14	8	195	155	72	13	7	10	520

内 科	4	8	4	17	9	3	190	150	69	11	2	4	471
整 形 外 科	3	1	2	3	4	4	4	3	2	1	5	6	38
精 神 科										1			1
外 科 処 置	0	0	1	3	1	1	1	2	1	0	0	0	10

(注) その他の外来者とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

(注) 精神科は、急患対応のみである。

2) 診療収入等

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	36,600	82,600	74,000	70,800	61,000	66,400	131,900	66,800	60,800	83,400	56,700	104,400	895,400
整 形 外 科	30,000	32,900	85,800	92,800	52,000	88,400	85,600	76,200	72,100	58,000	57,900	65,700	797,400
精 神 科	262,000	242,000	343,500	367,500	298,000	254,000	344,000	302,500	383,500	326,500	358,000	410,000	3,891,500
そ の 他	1,500	1,500	15,000	7,500	0	2,000	706,000	716,500	523,000	6,500	0	11,000	1,990,500
合 計 (円)	330,100	359,000	518,300	538,600	411,000	410,800	1,267,500	1,162,000	1,039,400	474,400	472,600	591,100	7,574,800

(注) 診療収入等には、診療費、薬剤費、診断書等が含まれる。

(注) その他には、診察外の診断書、予防接種等が含まれる。

(参考：前年度(2020.4～2021.3)の診療収入等)

科別内訳	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計(円)
内 科	22,500	21,600	29,000	40,400	32,600	69,300	142,800	83,400	57,800	110,000	87,600	110,800	807,800
整 形 外 科	18,100	18,200	17,100	39,200	38,900	48,800	73,700	33,900	26,400	42,900	46,500	81,500	485,200
歯 科	8,200	8,800	19,500	17,000	9,600	10,800	12,200	15,900	13,300	15,800	19,900	24,900	175,900
精 神 科	306,500	223,000	300,000	341,500	298,500	273,000	371,500	288,500	270,500	332,000	314,000	442,500	3,761,500
そ の 他	4,500	0	1,500	9,000	2,000	8,000	1,031,000	653,000	372,500	5,000	500	8,000	2,095,000
合 計 (円)	359,800	271,600	367,100	447,100	381,600	409,900	1,631,200	1,074,700	740,500	505,700	468,500	667,700	7,325,400

10. そ の 他

1) インフルエンザワクチン接種

対 象	接 種 数
学 生	387
職 員	386
計	773

2) H B s 抗原抗体検査

対 象	H B s 抗原検査数	H B s 抗体検査数
理療科教員養成施設学生	8	8
職 員	0	0
計	8	8

注：H B s 抗原抗体検査は、理療科教員養成施設所属の職員と学生（新入生）が対象である。

3) 臨床検査実施数

月	血 液	尿	心電図	超音波検査	腸内細菌検査	その他	合 計
4 月	3	6	4			2	15
5 月	6	5	16			5	32
6 月	5	10	25		2	5	47
7 月	5	14	21		3	7	50
8 月	2	5	6			5	18
9 月	8	12	8			11	39
10月	9	22	12			21	64
11月	4	14	4			12	34
12月	3	6	8			5	22
1 月	10	15	12			10	47
2 月	9	10	9			10	38
3 月	12	21	12			25	70
合 計	76	140	137	0	5	118	476

4) エックス線写真撮影件数

区 分	学 生	職 員	合 計
月	件 数	件 数	件 数
4	19	2	21
5	39	1	40
6	69	2	71
7	69	4	73
8	37	4	41
9	72	4	76
10	90	2	92
11	68	3	71
12	64	1	65
1	56	4	60
2	51	6	57
3	68	6	74
合 計	702	39	741
学生定期健康診断撮影 7,323 名			
職員定期健康診断撮影 6,055 名			

5) 心理検査実施数

月	実 施 数
令和3年4月	3
5月	
6月	2
7月	4
8月	2
9月	
10月	
11月	1
12月	3
令和4年1月	5
2月	
3月	2
合 計	22

6) 処方箋発行枚数

月	発 行 数
令和3年4月	138
5月	153
6月	193
7月	223
8月	163
9月	140
10月	176
11月	148
12月	211
令和4年1月	162
2月	178
3月	201
合 計	2,086

7) 外部診療機関紹介状況

区分 \ 科分類	内科	整形外科	精神科	救急外来	その他	合計
学 群 生	36	15	29	8	90	178
大 学 院 生	18	4	32		21	75
研 究 生	4	1	2		5	12
学 生 合 計	58	20	63	8	116	265
職 員・そ の 他	7		0	1	4	12
合 計	65	20	63	9	120	277

注) 区分のその他とは、本学校内における公開講座、合宿の参加者、見学者などである。

8) 健康診断証明書等発行数

	センター発行	自動証明書発行 装 置 発 行	合 計
学 群 生	237	2,116	2,353
大 学 院 生	129	1,747	1,876
研 究 生	6		6
職 員	84		84
そ の 他	0		0
合 計	456	3,863	4,319

(注) 自動証明発行装置は、学生定型書式のみ。
その他は、学振・特別研究員等である。

9) 救護活動

No.	実施期間	日数	行事等名称	救護班設置場所	利用者数
1	令和3年 4月5日	1	入学式	保健管理センター	0
2	5月10日～14日	5	Japan-Expert 地球規模環境学位プログラム入試	保健管理センター	0
中止	5月15日～16日		春季スポーツデー	保健管理センター	中止
3	7月1日～2日	2	大学院博士課程入試（7月期）	保健管理センター	0
4	7月10日～11日	2	学群編入学試験 帰国生徒特別入試（10月入学）	保健管理センター	0
中止			大子町オープンキャンパス	保健管理センター	中止
Web	8月21, 22, 28, 29日		大学説明会	保健管理センター	Web 開催
5	8月17日～23日	5	大学院入学試験（8月期）ヒューマンバイオロジー 学位プログラム（HBP）8月期入試	保健管理センター	0
6	8月25日	1	国際バカロレア 海外教育プログラム特別入試	保健管理センター	0
7	10月13日～20日	6	R4年度 学群AC入試・国際科学オリンピック特 別入試・国際バカロレア特別入試	保健管理センター	0
8	10月14日～20日	5	大学院入学試験（10月期）	保健管理センター	0
9	10月21日	1	令和4年度 研究人材入試	保健管理センター	0
Web	11月5日～7日		学園祭	保健管理センター	Web 開催
10	11月20日～21日	2	秋季スポーツデー	保健管理センター	3
11	11月29日～30日	2	推薦入試	保健管理センター 体芸試験場救護室	0
12	令和4年 1月15日～16日	2	大学入学共通テスト	保健管理センター 各入試会場救護室	32
13	1月26日～2月3日	7	大学院入試（2月期）・学位プログラム	保健管理センター	0
14	1月29日～30日	2	大学入学共通テスト追試験	第一試験場	3
15	2月25日～26日	2	個別学力検査等（前期日程）・学群編入学試験	保健管理センター 各入試会場救護室	5
16	3月12日	1	個別学力検査等（後期日程）	保健管理センター	2
17	3月22日	1	個別学力検査（前期・後期）追試験	保健管理センター	0
18	3月25日	1	卒業式	保健管理センター	0
計		48			45

10) 救急箱貸出数

月	貸 出 数
令和3年4月	0
5月	0
6月	0
7月	1
8月	1
9月	0
10月	2
11月	4
12月	0
令和4年1月	8
2月	7
3月	3
合 計	26

11) 医療安全教育研修

第1回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和3年12月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 24名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 医療組織が機能するために何が必要か

第2回 診療の安全に関する研修

1. 対 象 筑波大学附属病院職員等
2. 期 日 令和4年3月
3. 場 所 学内専用システム manaba
4. 参加人数 23名
5. 担 当 附属病院臨床医療管理部外
6. 内 容 感染対策, 抗菌薬, 医薬品, 医療機器に関する研修
 - (1) 入職・実習受入れに必要なワクチン接種・抗体検査
 - (2) 「アンチバイオグラム」とは何か?
感染症の初期治療に役立つ資料
 - (3) PMDAへの副作用報告について
院外処方せんにおける疑義照会
簡素化プロトコルの導入について
 - (4) 医療機器のeラーニング講習

11. 研 究 業 績

<原著論文>

1. Chiba E, Kimura Y, Shimizu-Motohashi Y, Miyagawa N, Ota M, Shigemoto Y, Ohnishi M, Nakaya M, Nakagawa E, Sasaki M, Sato N. Clinical and neuroimaging findings in patients with lissencephaly/subcortical band heterotopia spectrum: a magnetic resonance conventional and diffusion tensor study. *Neuroradiology*, 2021.
2. Ota M, Noda T, Sato N, Hidese S, Teraishi T, Matsuda H, Kunugi H. Structural brain network differences in bipolar disorder using with similarity-based approach. *Acta Neuropsychiatr*, *Acta Neuropsychiatr*, Vol. 33, 121-125,
3. Otaka M, Kikuchi-Hayakawa H, Ogura J, Ishikawa H, Yomogida Y, Ota M, Hidese S, Ishida I, Aida M, Matsuda K, Kawai M, Yoshida S, Kunugi H. Effect of *Lactocaseibacillus paracasei* Strain Shiota on Improvement in Depressive Symptoms, and Its Association with Abundance of Actinobacteria in Gut Microbiota. *Microorganisms*, Vol. 9, 1026, 2021.
4. Yomogida Y, Matsuo J, Ishida I, Ota M, Nakamura K, Ashida K, Kunugi H. An fMRI Investigation into the Effects of Ketogenic Medium-Chain Triglycerides on Cognitive Function in Elderly Adults: A Pilot Study. *Nutrients*, Vol. 13, 2134, 2021.
5. Saito K, Hattori K, Hidese S, Sasayama D, Miyakawa T, Matsumura R, Tatsumi M, Yokota Y, Ota M, Hori H, Kunugi H. Profiling of Cerebrospinal Fluid Lipids and Their Relationship with Plasma Lipids in Healthy Humans. *Metabolites*, Vol. 11, 268, 2021.
6. Merritt K, McGuire PK, Egerton A; 1H-MRS in Schizophrenia Investigators, Aleman A, Block W, Bloemen OJN, Borgan F, Bustillo JR, Capizzano AA, Coughlin JM, De la Fuente-Sandoval C, Demjaha A, Dempster K, Do KQ, Du F, Falkai P, Galinska-Skok B, Gallinat J, Gasparovic C, Ginestet CE, Goto N, Graff-Guerrero A, Ho BC, Howes OD, Jauhar S, Jeon P, Kato T, Kaufmann CA, Kegeles LS, Keshavan M, Kim SY, Kunugi H, Lauriello J, Liemburg EJ, McIlwain ME, Modinos G, Mouchlianitis ED, Nakamura J, Nenadic I, Öngür D, Ota M, Palaniyappan L, Pantelis C, Plitman E, Posporelis S, Purdon SE, Reichenbach JR, Renshaw PF, Russell BR, Sawa A, Schaefer M, Shungu DC, Smesny S, Stanley JA, Stone JM, Szulc A, Taylor R, Thakkar K, Théberge J, Tibbo PG, van Amelsvoort T, Walecki J, Williamson PC, Wood SJ, Xin L, Yamasue H. Association of Age, Antipsychotic Medication, and Symptom Severity in Schizophrenia With Proton Magnetic Resonance Spectroscopy Brain Glutamate Level: A Mega-analysis of Individual Participant-Level Data. *JAMA Psychiatry*, Vol. 78, 667-681, 2021.
7. Ogawa T, Shiratori Y, Tachikawa H, Sodeyama N, Ota M, Midorikawa H, Arai T. Association between depressive state and behavioral changes induced by the state of emergency for Coronavirus disease 2019: Evidence from university students in Japan. *Acta Psychol (Amst)*, Vol. 221, 103445, 2021.
8. Yomogida Y, Ota M, Matsuo J, Ishida I, Hidese S, Teraishi T, Sato N, Matsuda H, Hattori K, Kunugi H. Neuroanatomical basis of harm avoidance personality traits in major depressive disorder. *J affect disord*, Vol. 6, 100225, 2021.

9. Nakamura A, Yomogida Y, Ota M, Matsuo J, Ishida I, Hidese S, Kunugi H. The cerebellum as a moderator of negative bias of facial expression processing in depressive patients. *J affect disord*, Vol. 7, 100295, 2022.
10. Ota M, Numata Y, Kitabatake A, Tsukada E, Kaneta T, Asada T, Meno K, Uchida K, Suzuki H, Korenaga T, Arai T. Structural brain network correlations with amyloid burden in elderly individuals at risk of Alzheimer's disease. *Psychiatry Res Neuroimaging*, Vol. 319, 111415, 2022.
11. Boku Y, Ota M, Nemoto M, Numata Y, Kitabatake A, Takahashi T, Nemoto K, Tamura M, Sekine A, Ide M, Kaneda Y, Arai T. The Multicomponent Day-Care Program Prevents Volume Reduction in a Memory-Related Brain Area in Patients with Mild Cognitive Impairment. *Dement Geriatr Cogn Disord*. 2022 Mar 23:1-8.
12. Ide R, Ota M, Hada Y, Watanabe S, Takahashi T, Tamura M, Nemoto K, Arai T. Dynamic balance deficit and the neural network in Alzheimer's disease and mild cognitive impairment. *Gait Posture*. 2022 Mar;93:252-258.
13. Ishida I, Ogura J, Aizawa E, Ota M, Hidese S, Yomogida Y, Matsuo J, Yoshida S, Kunugi H. Gut permeability and its clinical relevance in schizophrenia. *Neuropsychopharmacol Rep*. 2022 Mar;42(1):70-76.
14. Takahashi T, Ota M, Numata Y, Kitabatake A, Nemoto K, Tamura M, Ide M, Matsuzaki A, Kaneda Y, Arai T. Relationships between the Fear of COVID-19 Scale and regional brain atrophy in mild cognitive impairment. *Acta Neuropsychiatr*. 2022 Feb 14:1-10.
15. Midorikawa H, Tachikawa H, Taguchi T, Shiratori Y, Takahashi A, Takahashi S, Nemoto K, Arai T. Demographics Associated With Stress, Severe Mental Distress, and Anxiety Symptoms During the COVID-19 Pandemic in Japan: Nationwide Online Survey. *JMIR Public Health Surveill*. 2021 Nov 22; 7(11): e29970.
16. Ogawa T, Tachikawa H, Shiratori Y, Sodeyama N, Taguchi T, Hori T, Arai T. Use of Blonanserin Transdermal Patch in Home Treatment of Schizophrenia: A Case Study. *J Clin Psychopharmacol*. 2021 SepOct01; 41(5): 603605.
17. Sugawara D, Shiratori Y, Yamada N, Yaguchi C, Senoo E, Hori T, Tachikawa H. The Effect of Character Traits and Coping Style on Suicide Attempts in Japanese Adults with Mental Disorders. *J Affect Disord Rep*. 2021; 4: 100110.
18. Midorikawa, Haruhiko, Aiba, Miyuki, Lebowitz, Adam, Taguchi, Takaya, Shiratori, Yuki, Ogawa, Takafumi, Takahashi, Asumi, Takahashi, Sho, Nemoto, Kiyotaka, Arai, Tetsuaki, Tachikawa, Hirokazu. Confirming validity of The Fear of COVID-19 Scale in Japanese with a nationwide large-scale sample. *PloS one*. 2021; 16(2): e0246840-e0246840.
19. Shigemasa R, Masuko H, Oshima H, Hyodo K, Kitazawa H, Kanazawa J, Iijima H, Naito T, Saito T, Sakamoto T, Hizawa N: Dust mite-dominant sensitization pattern as a causal factor for adult-onset asthma. *Allergol Int*. 2021; 70(3): 368-369.
20. Kitazawa H, Masuko H, Kanazawa J, Shigemasa R, Hyodo K, Yamada H, Yatagai Y, Kaneko Y, Iijima H,

- Naito T, Saito T, Noguchi E, Konno S, Hirota T, Tamari M, Sakamoto T, Hizawa N: ORMDL3/GSDMB genotype is associated with distinct phenotypes of adult asthma. *Allergol Int.* 2021; 70(4):495-497.
21. Yatagai Y, Oshima H, Sakamoto T, Shigemasa R, Kitazawa H, Hyodo K, Masuko H, Iijima H, Naito T, Saito T, Hirota T, Tamari M, Hizawa N: Expression quantitative trait loci for ETV4 and MEOX1 are associated with adult asthma in Japanese populations. *Sci Rep.* 2021; 11(1):18791.
 22. Hyodo K, Masuko H, Oshima H, Shigemasa R, Kitazawa H, Kanazawa J, Iijima H, Ishikawa H, Kodama T, Nomura A, Kagohashi K, Satoh H, Saito T, Sakamoto T, Hizawa N: Common exacerbation-prone phenotypes across asthma and chronic obstructive pulmonary disease (COPD). *PLoS One.* 2022; 17(3): e0264397.
 23. Yasunaga Y, Koizumi R, Toyoda T, Koda M, Mamizuka N, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K. Biofeedback Physical Therapy With the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type for Chronic Low Back Pain: A Pilot Study. *Cureus.* 2022; 14(3): e23475.
 24. Fujikawa T, Takahashi S, Shinohara N, Mashima N, Koda M, Takahashi H, Yasunaga Y, Sankai Y, Yamazaki M, Miura K. Early Postoperative Rehabilitation Using the Hybrid Assistive Limb (HAL) Lumbar Type in Patients With Hip Fracture: A Pilot Study. *Cureus.* 2022; 14(2): e22484.
 25. Miura K, Kadone H, Asada T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataka K, Shibao Y, Sato K, Eto F, Kono M, Suzuki K, Yamazaki M. The fatty degeneration of the lumbar erector spinae muscles affects dynamic spinal compensation ability during gait in adult spinal deformity. *Sci Rep.* 2021; 11(1): 18088.
 26. Yasunaga Y, Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataka K, Asada T, Wada K, Sankai Y, Yamazaki M. Exercise Therapy Using the Lumbar-Type Hybrid Assistive Limb Ameliorates Locomotive Function after Lumbar Fusion Surgery in an Elderly Patient. *Case Rep Orthop.* 2021; 2021: 1996509.
 27. Miura K, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Yamazaki M. Occipital Screw Placement Using a Navigation System for a Pathological Odontoid Fracture With a Dural Venous Sinus Variation. *Cureus.* 2021; 13(7): e16610.
 28. Miura K, Koda M, Tamaki K, Ishida M, Marushima A, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Mataka K, Yasunaga Y, Kawamoto H, Sankai Y, Matsumura A, Yamazaki M. Exercise training using hybrid assistive limb (HAL) lumbar type for locomotive syndrome: a pilot study. *BMC Musculoskelet Disord.* 2021; 22(1): 533.
 29. Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Koda M, Takahashi H, Miura K, Eto F, Furuya T, Sankai Y, Yamazaki M. Immediate effects of hybrid assistive limb gait training on lower limb function in a chronic myelopathy patient with postoperative late neurological deterioration. *BMC Res Notes.* 2022; 15(1): 89.
 30. Funayama T, Setojima Y, Shibao Y, Noguchi H, Miura K, Eto F, Sato K, Kono M, Asada T, Takahashi H, Tatsumura M, Koda M, Yamazaki M. A Case of Postoperative Recurrent Lumbar Disc Herniation Conservatively Treated with Novel Intradiscal Condoliase Injection. *Case Rep Orthop.* 2022; 2022: 3656753.

31. Okuwaki S, Funayama T, Ikumi A, Shibao Y, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Koda M, Tatsumura M, Kawamura H, Yamazaki M. Risk factors affecting vertebral collapse and kyphotic progression in postmenopausal osteoporotic vertebral fractures. *J Bone Miner Metab.* 2022; 40(2): 301-307.
32. Shimizu T, Koda M, Abe T, Asada T, Sato K, Shibao Y, Kono M, Eto F, Miura K, Mataka K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M. Paravertebral foramen screw fixation for posterior cervical spine surgery: clinical case series. *J Neurosurg Spine.* 2021; 22: 1-8.
33. Takahashi H, Koda M, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataka K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Sato K, Asada T, Okuwaki S, Shimizu T, Ikumi A, Fujii K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Saito J, Aoki Y, Ohtori S, Yamazaki M. Continuous local antibiotic perfusion for patients with surgical site infection after instrumented spinal surgery; a novel technique to retain the implants. *J Clin Neurosci.* 2021; 93: 70-74.
34. Takahashi H, Koda M, Funayama T, Noguchi H, Miura K, Mataka K, Shibao Y, Eto F, Kono M, Sato K, Asada T, Okuwaki S, Shimizu T, Ikumi A, Fujii K, Shiga Y, Inage K, Eguchi Y, Orita S, Saito J, Aoki Y, Ohtori S, Yamazaki M. Continuous local antibiotic perfusion for patients with surgical site infection after instrumented spinal surgery; a novel technique to retain the implants. *J Clin Neurosci.* 2021; 93: 70-74.
35. Asada T, Koda M, Funayama T, Takahashi H, Noguchi H, Miura K, Mataka K, Yamazaki M. Imaging-Based Diagnosis of Epiconus Syndrome From the Distance of the Lesion to Where the Spinal Cord Terminates Not From the Disc Level: A Case Series. *Cureus.* 2021; 13(9): e17708.
36. Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Takahashi H, Koda M, Miura K, Watanabe H, Suzuki K, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M. Robotic Shoulder Rehabilitation With the Hybrid Assistive Limb in a Patient With Delayed Recovery After Postoperative C5 Palsy: A Case Report. *Front Neurol.* 2021; 12: 676352.
37. Miura M, Maki S, Miura K, Takahashi H, Miyagi M, Inoue G, Murata K, Konishi T, Furuya T, Koda M, Takaso M, Endo K, Ohtori S, Yamazaki M. Automated detection of cervical ossification of the posterior longitudinal ligament in plain lateral radiographs of the cervical spine using a convolutional neural network. *Sci Rep.* 2021; 11(1): 12702.
38. Gamada H, Koda M, Shina I, Asada T, Eto F, Kono M, Shibao Y, Mataka K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Abe T, Yamazaki M. What Trajectory Is Safe for Double Penetrating Endplate Screw Posterior Spinal Fusion Surgery in the Thoracolumbar Region? *World Neurosurg.* 2021; 151: e972-e978.
39. Kubota S, Kadone H, Shimizu Y, Koda M, Miura K, Takahashi H, Watanabe H, Marushima A, Hada Y, Sankai Y, Yamazaki M. Adjustment effect during shoulder abduction training with the Hybrid Assistive Limb in a patient with postoperative C5 palsy. *J Clin Neurosci.* 2021; 88: 197-204.
40. Shimizu T, Koda M, Abe T, Shibao Y, Kono M, Eto F, Miura K, Mataka K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M. Correlation between osteoarthritis of the atlantoaxial facet joint and a high-riding vertebral artery. *BMC Musculoskelet Disord.* 2021; 22(1): 406.
41. Ezaki S, Kadone H, Kubota S, Abe T, Shimizu Y, Tan CK, Miura K, Hada Y, Sankai Y, Koda M, Suzuki K, Yamazaki M. Analysis of Gait Motion Changes by Intervention Using Robot Suit Hybrid Assistive Limb (HAL) in Myelopathy Patients After Decompression Surgery for Ossification of Posterior

Longitudinal Ligament. Front Neurorobot. 2021; 15: 650118.

42. Shibao Y, Koda M, Abe T, Mataka K, Miura K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Yamazaki M. Accidental anterior longitudinal ligament rupture during lateral lumbar interbody fusion disclosed after posterior corrective fusion surgery resulting in local hyper-lordosis. J Rural Med. 2021; 16(2): 111-114.
43. 高橋あすみ, Adam Lebowitz, 白鳥裕貴, 太刀川弘和. 項目反応理論による学生を対象とした日本版自殺の知識尺度 (LOSS-J) 開発の試み. 自殺予防と危機介入. 2021; 41 (2): 21-30.

<総説>

1. 間瀬かおり, 山縣邦弘: 各論第1章 腎疾患患者への薬の使い方 10. ループス腎炎, タクロリムス. 腎と透析. 2021; 91: 147-152.
2. 間瀬かおり, 山縣邦弘: 高齢者糖尿病におけるエビデンスー利益とリスクを考慮した治療ー 3. 高齢者の併存症および疾患に対する考え方・注意点 5) 慢性腎臓病. Progress in Medicine. 2021; 41 (9): 841-845.
3. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 國府田正雄, 山崎正志: 三次元歩行動作解析を用いた脊椎骨盤矢状面バランスの解析. 脊椎脊髄. 2021; 34(11): 863-866.

<著者>

1. 坂本 透: 喫煙と呼吸器疾患. 形態と機能からみた呼吸器疾患 病態を読み解くメカニズム (平井豊博, 岡田泰昌編). 南江堂 (東京). Pp270-274, 11月, 2021.

<学会発表>

1. Miura K, Sato K, Asada T, Kono M, Eto F, Shibao Y, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M: Surgical Apgar Score and Controlling Nutritional Status Score are significant predictors of major complications after cervical spine surgery Three-dimensional gait motion analysis in dropped head syndrome: a supporting tool for determining the cervical surgery procedure. 49th Annual Meeting of the Cervical Spine Research Society, (Atlanta, US), December, 2021.
2. Miura K, Koda M, Kawamoto H, Sankai Y, Yamazaki M: Exercise therapy using Hybrid Assistive Limb for lumbar support improves motor function in the elderly. 21st Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA), (Kuala Lumpur, Malaysia), July, 2021.
3. Miura K, Kadone H, Noguchi H, Funayama T, Abe T, Koda M, Yamazaki M: Fatty degeneration in back muscles correlates with deterioration of spinal sagittal balance during walking in adult spinal deformity. 21st Congress of the Asia Pacific Orthopaedic Association (APOA), (Kuala Lumpur, Malaysia), July, 2021.
4. Miura K, Asada T, Kadone H, Sato K, Kono M, Eto F, Shibao Y, Mataka K, Noguchi H, Takahashi H, Funayama T, Koda M, Yamazaki M: Fat infiltration in back muscles and gluteus maximus muscle is significantly related to deterioration of spino-pelvic sagittal balance during gait. 13th Combined Meeting of Asia Pacific Spine Society & Asia Pacific Paediatric Orthopaedic Society (APSS-APPOS), (Kobe,

Japan), June, 2021.

5. 三浦紘世, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がり症候群の病態と手術治療. 第11回最小侵襲脊椎治療(MIST)学会学術集会(東京), 10月, 2021.
6. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がり症候群に対する三次元歩行動作解析ー歩行時の脊椎矢状面バランス変化とアライメントとの関連ー. 第11回最小侵襲脊椎治療(MIST)学会学術集会(東京), 10月, 2021.
7. 三浦紘世, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: HAL腰タイプを用いた青壮年の職業性腰痛予防から高齢者のロコモ予防への応用までの取り組み. 第29回日本腰痛学会学術集会(東京), 10月, 2021.
8. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がり症候群における歩行時の脊椎矢状面バランス変化と静的アライメントとの関連ー三次元動作解析を用いた歩行解析ー. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会(三重), 10月, 2021.
9. 三浦紘世, 朝田智之, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: 背筋群と大殿筋の脂肪変性が歩行時の脊椎骨盤矢状面バランスの悪化と関連するー成人脊柱変形に対する三次元歩行動作解析ー. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会(三重), 10月, 2021.
10. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: 高齢者頸椎術後主要合併症の予測因子としてSurgical Apgar Scoreは有用である. 第36回日本整形外科学会基礎学術集会(三重), 10月, 2021.
11. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 國府田正雄, 山崎正志: 術前の栄養障害は頸髄症の術後主要合併症の発生と関連するー傾向スコアマッチングを用いた解析ー. 第30回日本脊椎インストゥルメンテーション学会(名古屋), 10月, 2021.
12. 三浦紘世, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: Surgical Apgar Scoreは高齢者頸椎術後の主要合併症予測因子となりうる. 第94回日本整形外科学会(東京), 5月, 2021.
13. 三浦紘世, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 成人脊柱変形において背筋群と大殿筋の脂肪変性が脊椎骨盤矢状面バランスの悪化と関連するー三次元動作解析を用いた歩行解析ー. 第94回日本整形外科学会(東京), 5月, 2021.
14. 三浦紘世, 門根秀樹, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: 首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎バランスの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連. 第94回日本整形外科学会(東京), 5月, 2021.
15. 三浦紘世, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志: Surgical Apgar Scoreは高齢者頸椎術後の主要合併症

- 予測因子となりうる. 第50回日本脊椎脊髄病学会(京都), 4月, 2021.
16. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 成人脊柱変形において背筋群と大殿筋の脂肪変性が脊椎骨盤矢状面バランスの悪化と関連するー三次元動作解析を用いた歩行解析ー. 第50回日本脊椎脊髄病学会(京都), 4月, 2021.
 17. 三浦紘世, 門根秀樹, 朝田智之, 佐藤康介, 河野衛, 江藤文彦, 柴尾洋介, 俣木健太郎, 野口裕史, 高橋宏, 船山徹, 安部哲哉, 國府田正雄, 山崎正志. 首下がり症候群に対する三次元動作解析を用いた脊椎骨盤バランスの歩行時動的評価と静的アライメントとの関連. 第50回日本脊椎脊髄病学会(京都), 4月, 2021.
 18. 嶋田貴文, 飯島弘晃, 望月美美, 石川博一, 内藤隆志, 重政理恵, 北澤晴奈, 増子裕典, 坂本透, 田辺直也, 佐藤 晋, 室 繁郎, 檜澤伸之: 健診後撮影胸部CTにおける Obstructive Index の意義. 第61回日本呼吸器学会学術講演会(東京), 4月, 2021.
 19. 重政理恵, 増子裕典, 大島央之, 兵頭健太郎, 北澤晴奈, 金澤 潤, 飯島弘晃, 内藤隆志, 齋藤武文, 広田朝光, 玉利真由美, 坂本 透, 檜澤伸之: アレルゲン感作への遺伝的感受性が CDHR3 遺伝子による喘息および COPD 発症リスクに与える影響. 第61回日本呼吸器学会学術講演会(東京), 4月, 2021.
 20. 兵頭健太郎, 増子裕典, 大島央之, 重政理恵, 北澤晴奈, 金澤 潤, 飯島弘晃, 児玉孝秀, 野村明広, 籠橋克紀, 佐藤浩昭, 齋藤武文, 坂本 透, 檜澤伸之: 慢性気道疾患の増悪クラスターと IL4Ra 遺伝子多型との関係. 第61回日本呼吸器学会学術講演会(東京), 4月, 2021.
 21. 望月美美, 飯島弘晃, 嶋田貴文, 石川博一, 内藤隆志, 重政理恵, 北澤晴奈, 増子裕典, 坂本透, 田辺直也, 佐藤 晋, 室 繁郎, 檜澤伸之: 健診受診健常者における Obstructive Index 基準値に関する検討. 第61回日本呼吸器学会学術講演会(東京), 4月, 2021.
 22. 沼本将成, 酒井千緒, 際本拓未, 山岸哲也, 中泉太佑, 蔵本健矢, 塩澤利博, 松山政史, 中澤健介, 小川良子, 増子裕典, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 川松夏実, 大原佑介, 鶴重千加子, 亀井克彦, 檜澤伸之: Aspergillus udagawae 感染による腹腔内膿瘍破裂から致死的な経過をたどった一例. 第244回日本呼吸器学会関東地方会(藤沢), 5月, 2021.
 23. 安田 一, 中泉太佑, 塩澤利博, 武石岳大, 渡邊 峻, 西野顕吾, 松山政史, 中澤健介, 増子裕典, 小川良子, 際本拓未, 松野洋輔, 森島祐子, 坂本 透, 檜澤伸之: EGFR 遺伝子変異と ALK 融合遺伝子を同時に認めた肺腺癌の1例. 第180回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部学会 第246回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会(東京), 9月, 2021.
 24. 重政理恵, 増子裕典, 大島央之, 兵頭健太郎, 北澤晴奈, 金澤 潤, 飯島弘晃, 内藤隆志, 齋藤武文, 廣田朝光, 玉利真由美, 坂本 透, 檜澤伸之: アレルゲン感作への遺伝的感受性が CDHR3 遺伝子による喘息及び COPD 発症リスクに与える影響. 第70回日本アレルギー学会学術大会(横浜), 10月, 2021.
 25. 北澤晴奈, 増子裕典, 大島央之, 重政理恵, 兵頭健太郎, 金澤潤, 山田英恵, 谷田貝洋平, 金子美子, 飯島弘晃, 内藤隆志, 齋藤武文, 今野 哲, 坂本 透, 檜澤伸之: 成人喘息発症における ORMDL3/GSDMB 遺伝子と CDHR3 遺伝子との相互作用. 第70回日本アレルギー学会学術

大会（横浜），10月，2021.

26. 大島央之，谷田貝洋平，重政理恵，北澤晴奈，兵頭健太郎，増子裕典，坂本 透，飯島弘晃，内藤隆志，齋藤武文，廣田朝光，玉利真由美，檜澤伸之：ETV4 遺伝子の発現量的形質遺伝子座（eQTL）と日本人成人喘息との関連．第70回日本アレルギー学会学術大会（横浜），10月，2021.
27. 吉野光朗，西野顕吾，際本拓未，武石岳大，渡辺 峻，中泉太佑，塩澤利博，松山政史，中澤健介，小川良子，増子裕典，松野洋輔，森島祐子，坂本 透，三浦 健，辻 浩史，臼井丈一，檜澤伸之：肺扁平上皮癌に対し Pembrolizumab を含む化学療法後に自己免疫性脳炎と急性腎機能障害を来した一例．第247回日本呼吸器学会関東地方会（東京），11月，2021.
28. 武石岳大，松山政史，渡辺 峻，西野顕吾，酒井千緒，中泉太佑，塩澤利博，中澤健介，増子裕典，小川良子，際本拓未，松野洋輔，森島祐子，坂本 透，檜澤伸之，松岡亮太，錦井秀和：肺扁平上皮癌に対する化学療法中に Pembrolizumab による造血不全を呈した一例．第181回日本結核・非結核性抗酸菌症学会関東支部会 第248回日本呼吸器学会関東地方会 合同学会（東京），2月，2022.
29. 飯島弘晃，望月美美，嶋田貴文，内藤隆志，石川博一，重政理恵，兵頭健太郎，増子裕典，坂本 透，檜澤伸之：健診受診者における喘息有病率と呼吸機能検査スクリーニングの検討．第7回日本アレルギー学会関東地方会（東京），3月，2022.
30. 大島央之，谷田貝洋平，重政理恵，増子裕典，坂本 透，飯島弘晃，内藤隆志，広田朝光，玉利真由美，檜澤伸之：成人発症好酸球性喘息感受性遺伝子としてのHCG22. 第7回日本アレルギー学会関東地方会（東京），3月，2022.
31. 太田深秀，沼田悠梨子，北畠綾子，鈴木秀昭，是永龍巳，伊藤ひとみ，目野浩二，内田和彦，新井哲明：軽度の認知機能障害群におけるアミロイド蓄積と大脳神経ネットワークとの関連．第36回日本老年精神医学会（web），9月，2021.
32. 螺良美波，石川玲，西村響，宇田川 惇，佐藤 優，高橋あすみ，白鳥裕貴，太刀川弘和：コロナ禍における生活改善の考え方（2）心理尺度との関連．第80回日本公衆衛生学会総会（web），12月，2021.
33. 太刀川弘和，高橋あすみ，布施泰子，石井映美，松原敏郎，丸谷俊之，小田原俊成，河西千秋，三井信幸，岡本百合，渡辺慶一郎，川島義高，白鳥裕貴，菅原大地，梶谷康介，太田深秀，安宅勝弘：大学生の自殺予防プログラム全国開発研究班活動報告．第43回全国大学メンタルヘルス学会総会（web），12月，2021.
34. 太刀川弘和，高橋あすみ，布施泰子，石井映美，松原敏郎，丸谷俊之，小田原俊成，河西千秋，三井信幸，岡本百合，渡辺慶一郎，川島義高，白鳥裕貴，菅原大地，梶谷康介，太田深秀，安宅勝弘：大学生の自殺予防プログラム全国開発研究班活動報告 大学生の自殺予防プログラム全国開発研究班活動報告．第43回全国大学メンタルヘルス学会総会（web），12月，2021.
35. 朴要俊，太田深秀，根本みゆき，沼田悠梨子，北畠綾子，高橋卓巳，根本清貴，田村昌士，関根彩，金田裕子，新井哲明：軽度認知障害者における認知カッピングデイケアの出席率と局所脳容積減少量との関連性の解明．第123回東京精神医学会（東京），11月，2021.
36. 新井哲明，佐藤泰之，太田深秀，中野明子：若年性認知症 アルツハイマー型認知症．第26回日

- 本神経精神医学会学術集会 (web), 10月, 2021.
37. 高橋卓巳, 太田深秀, 沼田悠梨子, 北畠綾子, 根本清貴, 田村昌武士, 井出政行, 金田裕子, 新井哲明: MCIにおけるCOVID-19恐怖尺度と局所脳委縮の関連. 第26回日本神経精神医学会学術集会 (web), 10月, 2021.
 38. 太刀川弘和, 田口高也, 高橋あすみ, 翠川晴彦, 松山藍利, 白鳥裕貴, 小川貴史, 高橋晶, 根本清貴, 新井哲明: コロナ禍における偏見的態度とメンタルヘルスの関連について. 第117回日本精神神経学会学術総会 (京都), 9月, 2021.
 39. 翠川晴彦, 櫛引夏歩, 綿谷恵子, 田口高也, 高橋晶, 白鳥裕貴, 根本清貴, 笹原信一郎, 大井雄一, 道喜将太郎, 堀大介, 松崎一葉, 新井哲明, 山縣邦弘, 太刀川弘和: 新型コロナウイルス感染症対応病院における医療従事者のメンタルヘルスと関連要因. 第117回日本精神神経学会学術総会 (京都), 9月, 2021.
 40. 松山藍利, 太刀川弘和, 翠川晴彦, 高橋あすみ, 田口高也, 白鳥裕貴, 小川貴史, 高橋晶, 根本清貴, 新井哲明: 新型コロナウイルス感染症に関わるメンタルヘルス全国調査ー精神心理症状に焦点を当てて. 第117回日本精神神経学会学術総会. (京都) 9月, 2021.
 41. 白鳥裕貴, 小川貴史, 川上直秋, 菅原大地, 矢口知絵, 山田典子, 妹尾栄一, 堀孝文, 太刀川弘和: 潜在連合テスト (Implicit Association Test: IAT) による自殺リスク評価に関する予備的研究. 第45回日本自殺予防学会総会 (web), 9月, 2021.
 42. 小川貴史, 白鳥裕貴, 矢口知絵, 山田典子, 妹尾栄一, 堀孝文, 太刀川弘和: 自殺再企図防止事業と精神科アウトリーチ事業の連携が有用であったひきこもりの1事例 自殺再企図防止事業と精神科アウトリーチ事業の連携が有用であったひきこもりの1事例. 第45回日本自殺予防学会総会 (web), 9月, 2021.
 43. 石橋駿, 金子修三, 服部晃久, 原田拓也, 高橋真由美, 秋山知希, 石井龍太, 田原敬, 角田亮也, 藤田亜紀子, 永井恵, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 臼井丈一, 斎藤知栄, 川西邦夫, 佐賀信之, 長田道夫, 吉澤有紀, 福本浩太, 末原泰人, 横山泰久, 千葉滋, 山縣邦弘: ネフローゼ症候群, 腎不全の精査を契機に診断し得たPOEMS症候群の1例. 第68回茨城腎研究会 (茨城), 4月, 2021.
 44. 石橋駿, 金子修三, 石井龍太, 角田亮也, 臼井俊明, 藤田亜紀子, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 臼井丈一, 斎藤知栄, 川西邦夫, 山縣邦弘: ネフローゼ症候群, 腎不全の精査を契機に診断し得たPOEMS症候群の1例. 第51回日本腎臓学会東部学術大会 (web), 9月, 2021.
 45. 高柳ひかり, 角田亮也, 秋山知希, 影山美希子, 藤田亜紀子, 臼井俊明, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 腎性低尿酸血症を伴わない運動後急性腎障害の2例. 第51回日本腎臓学会東部学術大会 (web), 9月, 2021.
 46. 原聖, 高橋真由美, 藤田亜紀子, 川西邦夫, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 臼井丈一, 山縣邦弘: 血漿交換を含む集学的治療が奏功した顕微鏡的多発血管炎の一例. 第51回日本腎臓学会東部学術大会 (web), 9月, 2021.
 47. 野村惣一郎, 臼井丈一, 原聖, 平井健太, 高柳ひかり, 石橋駿, 石井龍太, 角田亮也, 藤田亜紀子, 臼井俊明, 森戸直記, 間瀬かおり, 斎藤知栄, 川西邦夫, 山縣邦弘: 皮膚病変を主体と

した再発性ANCA陰性小型血管炎の一例. 第51回日本腎臓学会東部学術大会 (web), 9月, 2021.

48. 井上晃平, 臼井俊明, 原聖, 野村惣一郎, 秋山知希, 石井龍太, 角田亮也, 藤田亜紀子, 甲斐平康, 森戸直記, 間瀬かおり, 齊藤知栄, 臼井丈一, 鮎澤萌, 阿部春奈, 小島真奈, 浜田洋美, 松本なこ, 井上芳樹, 山縣邦弘: 加重型妊娠高血圧腎症・ネフローゼ症候群を伴う半月体形成性糸球体腎炎合併症妊娠の一例. 第31回腎と妊娠研究会学術集会 (web), 3月, 2021.

令和5年3月

編集・発行 筑波大学保健管理センター

〒305-8577

茨城県つくば市天王台1-1-1

電話 (029) 853-2401

FAX (029) 853-2402
